

米



新潟県 新発田市米輸出促進協議会 『新発田産米を世界各国へ』

【主な品目】

米

【主な輸出先国・地域】

台湾、香港、シンガポール、ハワイ、NY、ベトナム

【輸出取組の概要】

- ◆ 新発田市では、インバウンド誘客と輸出促進策の両輪で経済活性化を進める中で、海外への米輸出を開始。
- ◆ 市長による海外でのトップセールスや農業者、観光協会(DMO)、商工会議所、集荷事業者、金融機関、新発田市等の関係機関が一体となった「新発田市米輸出促進協議会」で輸出に取り組むことにより、更なる新発田市産米の輸出拡大を図る。

【輸出実績】(平成28年度から輸出開始)

| | 輸出額(万円) | 輸出量(t) | 出荷時期 |
|-------|---------|--------|------|
| 令和5年産 | 6,226 | 315 | 通年 |
| 令和4年産 | 5,812 | 306 | |
| 令和3年産 | 4,295 | 233 | |



NYワッカジャパン現地店舗での市長及び農業者

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 輸出用米の価格面や玄米色彩選別が必要なことなどから、当初は農業者が米を出してくれなかった。
- ・ コロナ禍の影響によって、海外の飲食産業からの受注が減少し、特に業務用向けの「こしいぶき」の販売が減少。



NYジャパンビレッジでの新発田産米販売(市農業者)

【生じた課題への対応】

- ・ 市長のトップセールスに農業者も同行し、現地販売店等で米をPR。
- ・ 現地のSNS・インフルエンサーを活用し、個人リテール向けに「コシヒカリ」をPR。

【対応の結果】

- ・ 農業者に実際に現地での米の販売状況や消費者の反応を見せることにより、輸出に取り組んでみようという意識改革に繋がった。
- ・ 個人消費需要(コシヒカリ)が増え、コシヒカリの評価も高くなっている。



NYワッカジャパン現地店舗での新発田産米試食販売(市長)

【今後の課題・展望】

- ・ 米の輸出で確立された販路を活用し、にいがた和牛の地域ブランドとして登録された「新発田牛」やあられ、おかき等の新発田産品の輸出に繋がりたい。
- ・ 海外では有機農産物の大きなマーケットがあることから、「新発田市有機農業産地づくり推進協議会」を立ち上げ、付加価値の高いオーガニック米の産地形成を推進。

【活用した支援・施策】

令和2、3、4年度: GFPグローバル産地づくり推進事業 令和5、6年度: デジタル田園都市国家構想交付金事業

【ウェブサイト】<https://www.city.shibata.lg.jp/>

【連絡先】 担当者名: 新発田市輸出促進協議会事務局(新発田市農林水産課) 山上、兼田 TEL: 0254-33-3108